

令和6年7月10日
小樽開発建設部

羊蹄ニセコサイクルルートの更なる魅力向上を目指して！

～新しい価値創造に向けて、これからの活動計画を話し合います～

小樽開発建設部では、令和6年3月に閣議決定した第9期北海道総合開発計画の中心理念である多様な主体や分野を越えた連携・協働に取り組み、より多くの将来像の実現、より多くの地域課題の解決を目指しています。

この度、小樽開発建設部は、羊蹄ニセコ自転車走行協議会総会に参加し、今年度のアクションプランのほか、官と民の垣根を超えた共創による羊蹄ニセコサイクルルートの更なる魅力向上や新しい価値創造に向けて、これからの活動計画について話し合います。

羊蹄ニセコ自転車走行協議会（通称：YNCA）は、羊蹄山麓エリアで「誰でも気軽に楽しむことができる自転車環境づくり」を目指し、自転車愛好家、観光団体、商工・経済団体及び関係行政機関等により構成され、平成30年7月に設立されました。また、自転車走行環境の改善や受入環境の充実等を図る取組を更に推進するため、令和5年12月に道路協力団体^{※1}に指定されました。

当部では、羊蹄ニセコサイクルルートにおける走行環境の改善や受入環境の整備等を、YNCAと協働で行っており、YNCA総会において、今年度のアクションプランのほか、羊蹄ニセコサイクルルートの更なる魅力向上や新しい価値創造に向けて、サイクル拠点の拡充、シェア・ザ・ロードの普及啓発活動、新たな観光コンテンツの創出など、これからの活動計画について話し合います。

記

- (1) 日 時 令和6年7月17日（水）15時～
- (2) 実施場所 倶知安町中小企業センター（倶知安町南2条西1丁目）
- (3) 参加者 羊蹄ニセコ自転車走行協議会・北海道後志総合振興局・北海道開発局小樽開発建設部
- (4) その他 取材を希望される方は、以下の問合せ先に事前にご連絡ください。

※1：「道路協力団体制度」は、道路における身近な課題の解消や道路利用者のニーズへのきめ細やかな対応などの業務に自発的に取り組む民間団体を支援し、地域の実情に応じた道路管理の充実を図ることを目的とした制度で、平成28年4月に創設されました。

【道路協力団体HP】 <https://www.mlit.go.jp/road/kyoryokudantai/index.html>

(参考) 羊蹄ニセコサイクルルートの紹介動画はこちら →



ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

道路計画課 課長

坂ノ上 有紀（電話 0134-23-5229）

道路計画課 道路調査官

山崎 勲（電話 0134-23-5229）

（小樽開発建設部ホームページ）

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>



羊蹄ニセコ自転車走行協議会およびサイクルルート概要

羊蹄ニセコ自転車走行協議会（通称：YNCA）

<設立日>

平成30年7月7日

<構成員>

町村：

蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町

観光協会：

蘭越町観光協会、(株)ニセコリゾート観光協会、真狩村観光協会、留寿都村観光協会(一社)きもべつ観光協会、京極町観光協会、(一社)倶知安観光協会

商工会：

倶知安商工会議所、羊蹄山麓商工会広域連携協議

金融機関：

北洋銀行倶知安支店、北海道信用金庫倶知安支店

農業協同組合：

J A ようてい

バス会社：

道南バス(株)、ニセコバス(株)

一般会員(法人)：

(有)マウンテンサイド、本田興業(株)、横関建設工業(株)、(株)ニセコリアルエステート、(一社)北海道イベント、(株)ジェイロジック、(株)HTM、ようてい法律事務所、パケーションニセコ、お食事バーきむら、マイエコロッジ、シャレーアイビー、東急リゾート&ステイ(株)、(株)レモンコーポレーション、トリフィートホテル&ポッドニセコ、ニセコワイズ観光(株)ホワイトアイル、(合)銀色の旅人舎、羊蹄ハイヤー、北海道ライオンアドベンチャー

<設立目的>

本協議会は、羊蹄山麓エリアの行政、観光団体、経済団体、自転車愛好家等が一体となって「誰でも気軽に楽しむことができる自転車環境づくり」を通じて経済効果をエリア全体に波及させることを目的とする。(協議会規約・第2条)

サイクルルート図

